

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公開番号】特開2008-154241(P2008-154241A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2007-324742(P2007-324742)

【国際特許分類】

H 01 Q	1/22	(2006.01)
B 60 C	19/00	(2006.01)

【F I】

H 01 Q	1/22	Z
B 60 C	19/00	B
B 60 C	19/00	G

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月14日(2010.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細長いダイポールアンテナを有する電子デバイスを受け入れ部材の表面に載せる方法であって、

少なくとも1つのアンテナ位置決め手段を有する保持装置を前記電子デバイスに隣接して配置させることと、

前記アンテナ位置決め手段を作動させることと、

前記アンテナ位置決め手段によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置に取り込まれた状態になるように移動させることと、

前記保持装置を前記受け入れ部材の表面に隣接する位置に移動させることと、

前記保持装置を前記受け入れ部材の表面に係合させることと、

前記電子デバイスを前記受け入れ部材の表面に置くことと、

を有する、細長いダイポールアンテナを有する電子デバイスを受け入れ部材の表面に載せる方法。

【請求項2】

保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記受け入れ部材の表面に当接するように移動させることをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも1つの磁石によって、互いに対向するガイドフィンガによって形成された前記保持装置の各スロット内に、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を取り込むことをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記各スロットの前記ガイドフィンガの末端を前記受け入れ部材の表面に係合させることをさらに有する、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記各スロットの前記ガイドフィンガの前記末端が前記受け入れ部材の表面に係合した状態で、保持装置押圧手段によって前記アンテナ端部を前記受け入れ部材の表面に当接す

るよう^に移動させることをさらに有する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記アンテナ位置決め手段によって、前記保持装置の前記各スロットの間に細長い場所に前記アンテナを保持することをさらに有する、請求項3に記載の方法。

【請求項7】

前記保持装置の各スロット内に配置された少なくとも1つの磁石によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置内に取り込むことをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記各スロット内の保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記各スロットから移動させることをさらに有する、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記各スロット内の前記少なくとも1つの磁石によって、前記アンテナを前記保持装置の前記各スロットの間に細長い形で保持することをさらに有する、請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記各スロット内の保持装置押圧手段によって、前記アンテナ端部を前記各スロットから移動させることをさらに有する、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

磁気システムおよび真空システムを含む一群のシステムから選択されるアンテナ位置決め手段によって、前記電子デバイスの相対するアンテナ端部を前記保持装置のスロットに取り込むことをさらに有する、請求項1に記載の方法。